

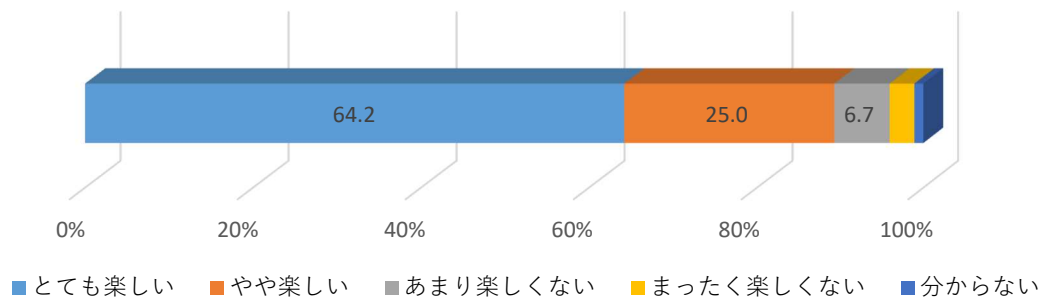
令和7年度特別の教育課程の実施状況等について

1 自己評価結果

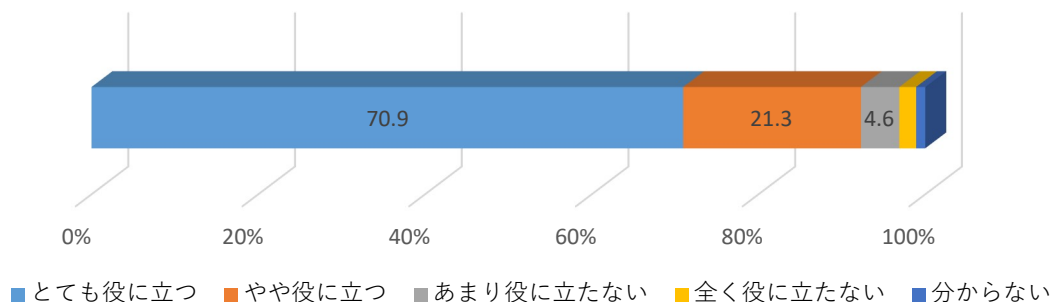
令和7年度全校児童にアンケートを行ったところ、「英語タイムや外国語科、外国語活動が楽しいですか」という質問に対し、「とても楽しい」、「やや楽しい」と回答した児童は、全体の89.2%であり、「あまり楽しくない」「まったく楽しくない」「分からない」と答えた児童を大きく上回った。また、「英語タイムや外国語科、外国語活動は役に立つと思いますか」という質問に、「とても役に立つ」、「やや役に立つ」と回答した児童は、全体の92.2%だった。このことから児童自身が英語タイムを楽しんで行き、その価値を実感していることがうかがえる。

【資料1】児童のアンケート結果

質問：英語タイムや外国語科・外国語活動は楽しい



質問：英語タイムや外国語科・外国語活動は役に立つと思う



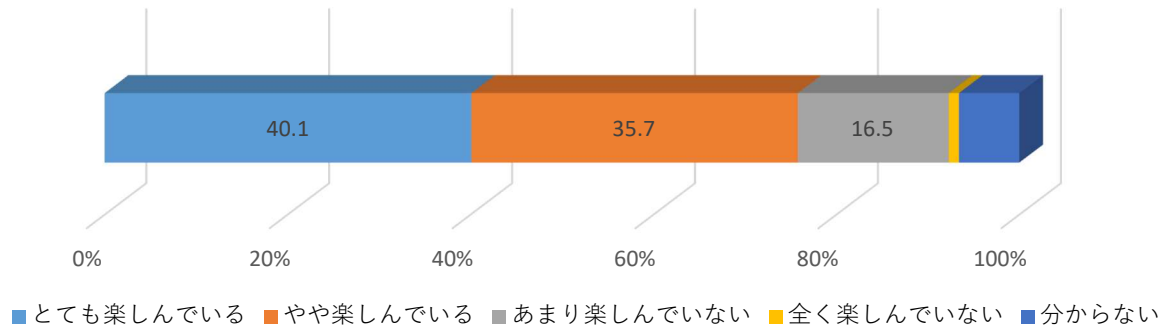
2 学校関係者評価結果

令和7年度に行った保護者向けのアンケートでは、「子供は英語タイムや外国語活動を楽しんで行っていますか」という質問に対し、「とても楽しんでいる」「やや楽しんでいる」との回答は、全体の75.8%あり、「あまり楽しんでいない」「まったく楽しんでいない」「分からない」を大きく上回った。このことから英語活動によって子供が楽しく英語を学んでいる

ことを保護者に理解していただいていることがうかがえる。

【資料2】保護者のアンケート結果

質問：子供は英語タイムや外国語活動を楽しんで行っていますか



3 まとめ

資料1から、子どもたちは、英語の学習が将来役に立つと考え、英語タイムに前向きに取り組んでいることが分かる。資料2では、子供たちが英語活動を楽しんでいると、保護者にも伝わっていることがうかがえる。また、ALTを教室に招いて授業を行うことで、生の音声に触れる時間を確保している。英語の発話内容を全て聞き取れていなくても、ALTの先生の動きや道具を見て、好きなものや得意なことを理解できた経験は、英語学習に対して「できた」と実感できるきっかけになったと考えられる。授業の終わりに取り組んだ自己紹介ゲームでは、自分から英語で話しかけてカードを交換する姿が多く見られた（資料3）。しかし、1割にも満たないものの英語活動が「あまり楽しくない」「まったく楽しくない」と感じている子供がいることも確かである。英語を聞いていて、聞き逃したことが1つでもあると不安に感じてしまう経験は誰しもあるだろう。コミュニケーションの中では、全てを理解できなくても、“Pardon me?”や“One more, please.”といった聞き返しの表現も教師のモデルの中で取り入れることで、「分からなければもう一度聞き返せばいいんだ」と、やりとりを充実できるような機会をつくっていきたい。



【資料3】英語で名前を質問し、カードを交換する1年生